

## 投 稿 規 定

- 1) 第一著者は会員であることが望ましい。但し、非会員であっても個人会員1年分の年会費相当額を納入すれば第一著者になることができる。責任著者 (corresponding author) が会員の場合には第一著者が非会員であっても掲載料を徴収しない。共著者には非会員を含むことができる。第一著者を除く非会員からは上記年会費相当額を徴収しない。海外からの外国人の投稿については、会員が含まれていなくても掲載料を免除する。
- 2) 投稿論文は媒介動物、非感染性疾患に係わる有害動物、環境・生活衛生に係わる不快動物、有害動物等の広く衛生動物学に関するもので未発表のものに限る。
- 3) 本誌は英語または日本語の原著論文、短報、症例報告、資料、総説を掲載し、その他新著紹介、学会関連記事などを収める。資料は調査記録および節足動物種の新記録等を記述するものとする。
- 4) 原稿の採否は別に定める編集委員会によって決定する。掲載順序は原則として掲載決定順序にしたがう。
- 5) 校正は初校のみを著者校とする。この際、誤植の訂正だけにとどめ内容の変更は認めない。
- 6) 原著論文は刷り上がり32ページ以内、短報、症例報告および資料は6ページ以内とし、超過したページは別に定める実費を著者負担とする。
- 7) 論文PDFは著者に贈呈するが、別刷りは50部単位で実費を著者負担とする。
- 8) 投稿論文の著者負担額は次のように定める。
  - ①超過ページ代は1ページにつき3,000円とする。
  - ②アートページ、カラー印刷、版下代 (トレース、写植を含む) は実費とする。
- 9) 原稿はMS Wordなどで作成し規定の送り状を添えて編集委員長宛に送付する。投稿方法は本規定付則に準ずる。
- 10) 英文校閲は投稿前に必ず受けることとする。
- 11) INFORMATION FOR CONTRIBUTORSは投稿規定及び執筆要領の改定、変更に準じて更新する。

### 付 則

- 1) 投稿方法: 投稿は電子メールの添付書類等インターネットを介した方法を利用する。電子メールやインターネットを利用できない場合は「衛生動物」編集委員長宛に書留便にて3部送付する。このうち写真をのぞいて2部はコピーでもよい。尚、希望のない限り既登載原稿は返却しない。
- 2) 本規定の変更は幹事会の議決による。
- 3) 著作権は日本衛生動物学会に帰属する。
- 4) 本規定は平成7年4月に改訂された。  
本規定は平成9年4月に改訂された。  
本規定は平成12年4月に改訂された。  
本規定は平成15年4月に改訂された。  
本規定は平成19年4月に改訂された。  
本規定は平成22年4月に改訂された。  
本規定は平成24年4月に改訂された。  
本規定は平成29年4月に改訂された。  
本規定は令和3年4月に改訂された。  
本規定は令和4年4月に改訂された。

## 執 筆 要 領

- 1) 原稿 (英文・和文) は、MS Word等のソフトを使用して作成する。
- 2) 原稿 (英文・和文) は、A4サイズ、フォントサイズ11ポイント、行間1.5行、ページ余白2.5 cmで作成する。
- 3) 和文原稿では句読点は使わず全角の「。」、「」、」を使用する。和文原稿では必ず全角の ( ) を使用する。
- 4) 用紙下中央にページ番号をつける。また行に通し番号をつける。
- 5) 図表はできるだけ少数にとどめ、原稿末尾に図のキャプション、図、表の順に添付する。図表を本文と異なるソフトで作成した場合は編集可能な別ファイルにする。和文原稿であっても図表は英語で作成する。
- 6) 原著論文、短報、症例報告、資料は次の要領で記載する。
  - 英文原稿  
第1ページ: 表題、著者全員の氏名、所属、住所、責任著者 (corresponding author) 名、e-mailアドレス。
  - 第2ページ: Abstract (内容を200語以内にまとめ、文献は引用しない)、キーワード6語以内
  - 第3ページ以降: 本文 (緒言、材料と方法、結果、考察、謝辞)、文献、表、図の説明文、図。原稿末尾に和文要約 (論文表題 (和文)、著者名 (和文) の次に論文の内容を360字以内でまとめたもの) を添付する。
  - 和文原稿  
第1ページ: 英文原稿第1ページと同じ内容を日本語で記す。次に同じ記載内容を英語で記す。
  - 第2ページ: 英文原稿第2ページと同じ内容を英語で記す。
  - 第3ページ以降: 英文原稿第3ページと同じ内容を日本語で記す。和文要約は不要。
- 7) 学名はイタリックとし、本文中初出のときは命名者を記す。2回目以降は命名者を省略、属名は略記する。和文原稿の生物名は、本文中初出時にカタカナ書きの和名のあとに括弧無しで学名を併記し、2回目以降は和名のみを表記する。英文の論文タイトルには、原則として学名に命名者を記さない。和文の論文タイトルには、原則として生物の和名のみを記し、学名を付さない (ただし、和名がない場合及び分類学的記載等で必要な場合を除く)。命名年は原記載論文が引用文献リストにない限り削除する。
- 8) 数字はアラビア数字、単位はメートル法による。
- 9) 図表はMS Word, Excel, PowerPointなどで作成し、原稿ファイルと共に添付ファイルで送付する。図表の書式は、最新の「衛生動物」を参考にする (<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/mez>)。複数ページにわたる表は、2ページ目以降の説明文を原則「Continued」で代用する。カラーページは必要最小限にとどめる。
- 10) 文献は本文に引用したものに関わりなく漏れのないように

アルファベット順に配列し、以下の例に従い記述する。同一著者、同一年発表の文献を複数引用する場合は、本文の引用と対応できるように年号の次に a, b, c を付けて区別すること。講演要旨は編集委員会が認めた場合に限り引用できる。

➤ 英文原稿

複数著者の場合、最後尾の著者の前はandで、それ以外はコンマで結ぶ。雑誌名は略称を用いイタリックに指定する。雑誌名の略称はBIOSIS Serial Sourcesに従う。詳しくは以下のウェブサイトを参照のこと。  
(<http://www.library.illinois.edu/biotech/j-abbrev.html>)

文献引用例

雑誌の論文: Author, A. B., Author, C. D. and Author, E. F.  
Publication year. Article Title. *Journal Title*  
(略称), 00: 00–00.

Rosen, L. 1986. The natural history of Japanese encephalitis virus. *Annu. Rev. Microbiol.*, 40: 395–414.

Shim, J. C., Kim, C. L., Lee, W. L. and Shin, E. H. 1990. Population densities of *Culex tritaeniorhynchus* for surveillance of Japanese encephalitis in Korea. *Kor. J. Entomol.*, 20: 213–222 (In Korean with English abstract).

著書: Author, A. B., Author, C. D. and Author, E. Jr.  
Publication year. Title. 000 pp., Publisher name, Place of publication.

Molineaux, L. and Gramiccia, G. 1980. The Garki Project, Research on the Epidemiology and Control of Malaria in the Sudan Savanna of West Africa. 311 pp., WHO, Geneva.

著書からの論文引用: Author, A. B. and Author, C. D.  
Publication year. Title of article. In: Title of Book (eds. Editor, F. and Editor, G.), pp. 00–00, Publisher, Place of publication.

Claydon, N. and Grove, J. E. 1984. *Fusarium* as an insect pathogen. In: The Applied Mycology of *Fusarium* (eds. Moss, M. O. and Smith, J. E.), pp. 117–128, Cambridge University Press, Cambridge.

電子ジャーナルのみの論文: Author, A. B., Author, C. D. and Author, E. F. Publication year. Article Title. *Journal Title* (略称), 00: 00000. DOI: xxxxxxxx

Zhang, Y., Nie, Y., Li, L. Y., Chen, S. Y., Liu, G. H. and Wei Liu, W. 2022. Population genetics and genetic variation of *Ctenocephalides felis* and *Pulex irritans* in China by analysis of nuclear and mitochondrial genes. *Parasit. Vectors*, 15: 266. DOI: <https://doi.org/10.1186/s13071-022-05393-6>

論文以外のウェブ上の資料: Author, A. B., Author, C. D. and Author, E. F. Publication year. Title of web page. Title of Web site [accessed month date, year].

URL Walter Reed Biosystematics Unit, 2009. Systematic Catalog of Culicidae. Walter Reed Biosystematics Unit [accessed November 28, 2009]. <http://www.mosquitocatalog.org>

[mosquitocatalog.org](http://www.mosquitocatalog.org)

➤ 和文原稿

複数著者の場合、最後尾の著者の前もコンマで結ぶ。和文雑誌名はイタリックにしない。

文献引用例

斉藤一三. 1991. ブユの生態に関する研究 (17). 四国地方におけるブユの分布に関する研究. 横浜医学, 42: 219–233.

高岡宏行, Ochoa, J. O., 山本 進. 1977. 九州におけるブユ科の種類相と分布について. 衛生動物, 28: 341–347.

高橋伸夫, 菅野峯明, 永野征男. 1989. 都市地理学入門. 219 pp., 原書房, 東京.

上村 清, 栗原 毅, 1979. 蚊の分類と分布. 蚊の科学 (佐々 学, 栗原 毅, 上村 清著), pp. 65–74. 図鑑の北隆館, 東京.

- 11) 本文中で同時に2つ以上の文献を引用する場合、発行年順に文献を挙げる。本文中で複数の著者による文献を引用する場合の著者名の記し方は次による。英文原稿では、著者が2名の時は著者名をandで結び (例: Claydon and Grove), 3名以上のときは2番目以降の著者を“et al.”で表わす (例 Shim et al.). 和文原稿では、著者が2名のときは著者をコンマで結び (例: 上村, 栗原), 3名以上のときは2番目以降の著者を“ら”で表わす (例: 高岡ら)。

原稿の送り先と送り状

原稿は [jsmez\\_editors@jsmez.org](mailto:jsmez_editors@jsmez.org) へ電子メールの添付書類で送付する。

送り状には以下の項目を明記し、“送り状 (投稿者氏名)” のファイル名で添付する。

1. 原稿の種類 (原著論文, 短報, 症例報告, 資料, 総説) (英文・和文)
2. 論文表題 (必ず英文と和文で記入する。)
3. 著者名 (全員を記入する。)
4. 筆頭著者または責任著者は日本衛生動物学会会員であるか。
5. 原著論文の筆頭著者が会員でかつ投稿時点で41歳未満の場合は生年月日を記入する。
6. 連絡先 (校正送付先, 別刷り送付先, 代金請求先が異なる場合はその旨記す。)  
郵便番号, 住所, 電話番号, e-mail アドレス
7. 英文原稿及び英文 Abstract は、英文校閲を受けていることを記す。
8. 利益相反自己申告
9. 動物実験および人を対象 (アンケート含む) とした実験・研究  
動物実験委員会や倫理審査委員会で承認を受けた場合には、承認を受けた委員会名と承認番号等を論文の謝辞に記載して下さい。  
9.1. 実験 (野外調査, アンケートを含む) は関連法規の遵守をお願い致します。海外での研究の場合は、現地および国際間の取り決めも含みます。地図, 写真, アンケート結果等を用いる場合は、個人情報保護にも十分な配慮をお願いします。

9.2.「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律」(以下、鳥獣保護管理法)により、野生動物(哺乳類や鳥類)を許可なく捕獲、飼育することは認められていません。ただし、鳥獣保護管理法第八十条および施行規則第七十八条において、ドブネズミ、クマネズミ、ハツカネズミは例外的に駆除することが認められています。したがって、この3種は駆除に準ずる行為(調査のための捕獲等)は許可なく行うことができます。

9.3. 動物(哺乳類、鳥類、爬虫類)の飼育を伴う実験は、日本学術会議が定める「動物実験の適正化に関するガイドライン」に準拠している施設で行って下さい。

9.4.「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」(以下、新倫理指針)が適用される研究においては、著者の所属組織において倫理審査委員会の審査を受けて下さい。所属先に倫理審査委員会がない場合は、都道府県医師会や日本医師会でも倫理審査を受け付けています。アンケート調査では設問内容によって新倫理指針における医学研究に該当しないことがあります。その

場合、審査は不要ですが、個人情報保護には十分な配慮をお願いします。

## 10. 通信欄

### 投稿に際しての注意

編集部へ原稿が届いた場合、遅くとも1週間以内に原稿受付番号を記した受け取りメールをお送りします。投稿後1週間を経過しても受け取りメールが届かない場合は、編集部へ原稿が届いたかどうかをjsmez\_editors@jsmez.org へお問い合わせください。

編集部

編集長 都野展子

E-mail: jsmez\_editors@jsmez.org

c/o 金沢大学自然科学研究科

〒920-1192 石川県金沢市角間町

Tel & Fax: 076-264-6214

# 「Medical Entomology and Zoology (衛生動物)」原稿送り状

(jsmez\_editors@jsmez.org へ“送り状 (投稿者氏名)”のファイル名で原稿とともに添付する)

( 年 月 日 送付)

※選択肢(太字の項目)は該当するものを残し、他は削除して下さい。

## 1. 原稿の種類(原著論文 短報 症例報告 資料 総説)

(英文 和文)

## 2. 論文表題

(英文)

(和文)(英文論文の場合も必ずご記入ください)

## 3. 著者名(全員記入)

## 4. 筆頭著者または責任著者は日本衛生動物学会会員ですか?

はい いいえ

## 5. 原著論文の筆頭著者が会員で41歳未満の場合、佐々賞選考対象となりますので生年月日をご記入ください。年 月 日生

## 6. 原稿内訳 本文(摘要, 引用文献, 図表説明を含む)\_\_\_\_ページ

図: \_\_枚, 表: \_\_枚

## 7. 連絡先(校正/別刷り送付先/代金請求先が異なる場合はそれぞれ記す)

〒

TEL:

e-mail:

## 8. 英文原稿, 英文Abstractともに英文校閲を受けていますか?

はい いいえ

\*投稿前に英文校閲を済ませていない原稿は受け付けできません。

## 9. 利益相反自己申告の必要がありますか?

はい いいえ

(研究に関連する企業・法人組織や営利を目的とした団体から基準以上の利益供与を受けた場合は自己申告する必要があります。くわしくは<https://www.jsmez.org/about/coi/>をご確認下さい。)

## 10. ヒトや爬虫類以上の脊椎動物が関係する研究

動物実験委員会や倫理審査委員会で承認を受けていますか? 受けている場合には, 承認を受けた委員会名と承認番号等を論文の謝辞に記載して下さい。

該当しない はい いいえ

➤実験(野外調査, アンケートを含む)は関連法規の遵守をお願い致します。海外での研究の場合は, 現地および国際間の取り決めも含みます。地図, 写真, アンケート結果等を用いる場合は, 個人情報保護にも十分な配慮をお願いします。

➤「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律」(以下, 鳥獣保護管理法)により, 野生動物(哺乳類や鳥類)を許可なく捕獲, 飼育することは認められていません。ただし, 鳥獣保護管理法第八十条および施行規則第七十八条において, ドブネズミ, クマネズミ, ハツカネズミは例外的に駆除することが認められています。したがって, この3種は駆除に準ずる行為(調査のための捕獲等)は許可なく行うことができます。

➤動物(哺乳類, 鳥類, 爬虫類)の飼育を伴う実験は, 日本学術会議が定める「動物実験の適正化に関するガイドライン」に準拠している施設で行って下さい。

➤「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」(以下, 新倫理指針)が適用される研究においては, 著者の所属組織において倫理審査委員会の審査を受けて下さい。所属先に倫理審査委員会がない場合は, 都道府県医師会や日本医師会でも倫理審査を受け付けています。アンケート調査では設問内容によって新倫理指針における医学研究に該当しないことがあります。その場合, 審査は不要ですが, 個人情報保護には十分な配慮をお願いします。

## 10. 通信欄

\*投稿前に, 投稿規定ならびに執筆要領を今一度ご確認ください。